



除幕式 2013/11/17

平成25年11月17日除幕式を迎えることができた。当日は雲一つない晴天に恵まれ、越川信一銚子市長、宇井成一香取市長はじめ多くの来賓をお迎えし盛大な式典となった。

図らずも12年後の今年、市民の会総会時の記念講演「銚子から世界遺産は生まれるかの検証」があり、講師の片岡英夫氏はOIV（顕著な普遍的価値）を満たす場所として犬若岬を挙げた。高安氏が以前話した世界遺産とは「シュトルーヴェの測地弧」

と直感した。碑はジオサイト屏風ヶ浦の一角で、役割を果たし続けている。うれしい限りである。（碑は平成29年2月22日銚子市に移管）

付記今、会誌「伊能忠敬研究一〇七号」が届いた。「地球の大きさを測った男たち18〜19世紀のヨーロッパと日本における子午線測量」著者吉田正人氏（筑波大学）が目にとまった。シュトルーヴェの測地弧について詳細が書かれている。

石ころ標本を作ろう

向後 和子

八月二日早朝、台風に関する警報は解除され、夏の親子自由研究「石ころ標本を作ろう」が実施されました。しかし、数日前から台風が懸念されており、前々日に上田専門員や田中さん、房州さんに

より、岩石の収集が行われておりました。当日は長崎海岸には行かず、銚子市ジオパーク・芸術センターの実験室で講義と岩石標本作りが行われました。

銚子では色々な岩石を見つけることが出来ること、岩石ができる形成場や岩石の種類についての説明があり、その後、ワークショップが行われ、岩石標本を作りました。子供たちは配布資料と見比べたり、ルーペで粒を確認したり、釘で引っ掻いたり、ネオジウム磁石が反応するかなどを熱心に行い、ワークシートを完成させました。そして、いよいよ岩石標本を作るため、小



岩石標本の作成

等は、小さなものも見逃さないように集めることにしています。ジオサイト清掃が終わった

標本箱を作りラベルを貼り、見事な岩石標本を作ることができました。

月例ジオサイト清掃（屏風ヶ浦）

小玉 健次郎

10月の月例ジオサイト清掃は屏風ヶ浦で開催されました。参加者は市民の会17名、ナルク12名、千葉科学大7名、東総学園6名、海上保安庁1名、一般の方1名の合計44名でした。

最近では漂着する大きな材木等の自然物については、分解され自然に回歸すると解釈し、通行の邪魔になりそうなるものは安全な場所に移動することとし、分解されないマイクロプラスチック

ら、無料のジオサイト案内をしています。今回は第一班が当番でした。またこれ

とは別にジオサイトを案内している最中に津波警報等緊急避難指示が発令された場合に、不案内なお客様を迷わず避難誘導するため、事前に避難通路を下見しておこうということになり、今回は名洗町の避難通路を確認しました。

マリナー海水浴場には、千葉科学大経由愛宕山へと書かれた誘導看板が立っています。屏風ヶ浦の先名洗近くの場合は、改築された堤防の階段を上り、集落の中を通って、さらに階段を上りドアーバーラインに抜ける避難路があるので、それを確かめました。参加者からは、予想していたものと少し違う景色もあったので、初めて来たら迷う可能性もあるので下見をしてよ

秋のジオ俳句

モズが鳴く
銚子電鉄 今朝声

モズが鳴く季節になりました。創業百年の銚電が去っていました。

保立 得造

ジオパーク
仲間と清掃 秋の風

出口 節

地層なす 屏風の名勝
ジオガイド

石嶋 博行

